

# 2009 年度第 4 学期 代数と幾何 中間試験問題

11 月 25 日 (水) 9:30-12:00 (150 分) 斎藤 毅

- ・問題用紙 1 枚、解答用紙 両面 2 枚、計算用紙 1 枚
- ・筆記用具、計時機能のみの時計 以外もちこめません。

**注意：答だけを書くのではなく，それが確かに答になっている理由もくわしく書いて下さい。答があっても，説明が不十分だと，減点されます。また，「明らか」という言葉は使わずに，説明して下さい。**

$\mathbb{R}$  は実数体を表わし， $\mathbb{N}$  は自然数全体の集合  $\{0, 1, 2, \dots\}$  を表わす。

問題 1  $A = \begin{pmatrix} -16 & -4 & 16 & 5 \\ 12 & 4 & -11 & -4 \\ -16 & -4 & 16 & 4 \\ 10 & 2 & -9 & -1 \end{pmatrix} \in M_4(\mathbb{R})$  とし， $x_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}$ ， $y_1 = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^4$  と

する。 $\mathbb{R}^4$  の自己準同型  $f: \mathbb{R}^4 \rightarrow \mathbb{R}^4$  を， $f(x) = Ax$  で定める。 $x_1$  によって生成される  $\mathbb{R}^4$  の  $f$  安定部分空間を， $W$  とおく。 $i \geq 2$  に対し， $x_i \in \mathbb{R}^4$  を， $x_i = f^{i-1}(x_1)$  で定める。

- (1)  $m = \dim W$  を求めよ。
- (2)  $W$  の自己準同形  $f|_W$  の，基底  $x_1, \dots, x_m$  に関する行列表示を求めよ。
- (3)  $f|_W$  の最小多項式を求めよ。
- (4)  $y_1$  によって生成される  $\mathbb{R}^4$  の  $f$  安定部分空間  $W'$  の次元を求めよ。
- (5)  $f$  の最小多項式を求めよ。
- (6)  $f$  の固有値をすべて求めよ。
- (7)  $f$  のすべての固有値に対し，固有空間の次元と一般固有空間の次元を求めよ。
- (8)  $\mathbb{R}^4$  の基底  $z_1, z_2, z_3, z_4$  で， $z_1, z_2, z_3, z_4$  に関する  $f$  の行列表示  $J$  がジョルダン標準形となるものを 1 つ求めよ。
- (9)  $f$  の固有多項式を求めよ。

問題 2  $C^\infty(\mathbb{R})$  を， $\mathbb{R}$  上定義された無限回微分可能な実数値関数全体のなす  $\mathbb{R}$  線形空間とし， $\mathbb{R}^{\mathbb{N}}$  で，実数列全体のなす  $\mathbb{R}$  線形空間を表す。線形写像  $D: C^\infty(\mathbb{R}) \rightarrow C^\infty(\mathbb{R})$  と  $T: C^\infty(\mathbb{R}) \rightarrow \mathbb{R}^{\mathbb{N}}$  を，それぞれ  $D(f) = f'$ ， $T(f) = (f^{(n)}(0))_{n \in \mathbb{N}} = (f(0), f'(0), f''(0), \dots)$  で定める。数列  $(a_0, a_1, a_2, \dots)$  を数列  $(a_1, a_2, a_3, \dots)$  につつす写像  $\mathbb{R}^{\mathbb{N}} \rightarrow \mathbb{R}^{\mathbb{N}}$  を， $\Delta$  で表わす。

- (1) 写像  $C^\infty(\mathbb{R}) \rightarrow \mathbb{R}^{\mathbb{N}}$  の等式  $\Delta \circ T = T \circ D$  を示せ。
- (2) 三角関数  $\cos, \sin \in C^\infty(\mathbb{R})$  は，1 次独立であることを示せ。
- (3)  $W$  を  $\mathbb{R}^{\mathbb{N}}$  の部分空間  $\text{Ker}(\Delta^4 - 1)$  とする。 $F: W \rightarrow \mathbb{R}^4$  を，数列  $(a_0, a_1, a_2, a_3, \dots) \in$

$W$  をベクトル  $\begin{pmatrix} a_0 \\ a_1 \\ a_2 \\ a_3 \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^4$  につつす線形写像とする。 $F$  は同形であることを示せ。

$\mathbb{R}^4$  の標準基底  $e_1, \dots, e_4$  の， $F$  による逆像を  $y_1, \dots, y_4 \in W$  で表わす。

- (4)  $V = \langle \cos, \sin \rangle$  を， $\cos, \sin$  によって生成される  $C^\infty(\mathbb{R})$  の部分空間とする。 $T(V) \subset W$  を示せ。
- (5) 線形写像  $T|_V: V \rightarrow W$  の， $V$  の基底  $\cos, \sin$  と， $W$  の基底  $y_1, \dots, y_4$  に関する行列表示を求めよ。

略解 1 (1)  $A$  をベクトル  $a_1 = Ae_1, a_2 = Ae_2, a_3 = Ae_3, a_4 = Ae_4 \in \mathbb{R}^4$  をならべた行列

$$(a_1 \ a_2 \ a_3 \ a_4) \text{ と考えると, } x_2 = A \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix} = a_1 + a_3 = \begin{pmatrix} -16 \\ 12 \\ -16 \\ 10 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} 16 \\ -11 \\ 16 \\ -9 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix},$$

$$x_3 = A \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} = a_2 + a_4 = \begin{pmatrix} -4 \\ 4 \\ -4 \\ 2 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} 5 \\ -4 \\ 4 \\ -1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} \text{ であり, } x_1, x_2, x_3 \text{ は 1 次独立である.}$$

$$x_4 = A \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} = a_1 + a_4 = \begin{pmatrix} -16 \\ 12 \\ -16 \\ 10 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} 5 \\ -4 \\ 4 \\ -1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -11 \\ 8 \\ -12 \\ 9 \end{pmatrix} = -12x_1 + 8x_2 + x_3 \text{ である. よっ$$

て,  $W = \langle x_1, x_2, x_3 \rangle$  であり,  $\dim W = 3$  である.

$$(2) \text{ 求める行列表示は, 多項式 } X^3 - X^2 - 8X + 12 \text{ の相伴行列 } \begin{pmatrix} 0 & 0 & -12 \\ 1 & 0 & 8 \\ 0 & 1 & 1 \end{pmatrix} \text{ である.}$$

(3) (2) より, 最小多項式は  $X^3 - X^2 - 8X + 12$  である.

$$(4) \ Ay_1 = \begin{pmatrix} 5 \\ -4 \\ 4 \\ -1 \end{pmatrix} \text{ であり, } y_1, Ay_1 \text{ は 1 次独立である.}$$

$$A^2 y_1 = \begin{pmatrix} -16 & -4 & 16 & 5 \\ 12 & 4 & -11 & -4 \\ -16 & -4 & 16 & 4 \\ 10 & 2 & -9 & -1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 5 \\ -4 \\ 4 \\ -1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -80 + 16 + 64 - 5 \\ 60 - 16 - 44 + 4 \\ -80 + 16 + 64 - 4 \\ 50 - 8 - 36 + 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -5 \\ 4 \\ -4 \\ 7 \end{pmatrix} = 6y_1 -$$

$Ay_1$  だから,  $\dim W' = 2$  である.

(5) (3) より,  $f|_W$  の最小多項式は  $X^3 - X^2 - 8X + 12 = (X - 2)(X^2 + X - 6)$  であり, (4) より,  $f|_{W'}$  の最小多項式は  $X^2 + X - 6$  である.  $f$  の最小多項式は,  $(X - 2)(X^2 + X - 6)$  と  $X^2 + X - 6$  の最小公倍式  $(X - 2)(X^2 + X - 6) = X^3 - X^2 - 8X + 12$  である.

(6) 最小多項式が  $(X - 2)(X^2 + X - 6) = (X - 2)^2(X + 3)$  だから, 固有値は, その根  $2, -3$  である.

(7)  $0 \subsetneq W_2 \subsetneq \widetilde{W}_2, W_{-3} = \widetilde{W}_{-3} \neq 0$  で,  $W = \widetilde{W}_2 \oplus W_{-3}$  だから,  $\dim W_2 = 1, \dim \widetilde{W}_2 = 2, \dim W_{-3} = 1$  である. 同様に,  $\dim W'_2 = \dim W'_{-3} = 1$  である.  $Ay_1 - 2y_1 = 4x_1 - 4x_2 + x_3$  だから,  $W'_{-3} = (A - 2)W' \subset W$  であり,  $V_{-3} = W_{-3} = W'_{-3}$  である. よって,  $\dim V_{-3} = \dim \widetilde{V}_{-3} = 1$  であり,  $\dim \widetilde{V}_2 = 3$  である. さらに,  $\widetilde{V}_2 = \widetilde{W}_2 + \widetilde{W}'_2$  だから,  $\widetilde{V}_2 = \widetilde{W}_2 \oplus \widetilde{W}'_2$  であり,  $\dim V_2 = 2$  である.

(8)  $z_1 = (A^2 + A - 6)x_1, z_2 = (A + 3)x_1, z_3 = (A + 3)y_1, z_4 = (A - 2)^2 x_1$  とおく.

$$z_1 = x_3 + x_2 - 6x_1 = \begin{pmatrix} 1 - 6 \\ 1 \\ -6 \\ 1 + 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -5 \\ 1 \\ -6 \\ 2 \end{pmatrix} \in W_2, z_2 = x_2 + 3x_1 = \begin{pmatrix} 3 \\ 1 \\ 3 \\ 1 \end{pmatrix} \in \widetilde{W}_2 \text{ である.}$$

$z_1 = (A - 2)z_2$  であり,  $z_1, z_2$  は  $\widetilde{W}_2$  の基底である.

$$z_3 = \begin{pmatrix} 5 \\ -4 \\ 4 \\ -1 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 0 \\ 3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 5 \\ -4 \\ 4 \\ 2 \end{pmatrix} \text{ は } W_2' \text{ の基底である . } z_4 = x_3 - 4x_2 + 4x_1 =$$

$$\begin{pmatrix} 1+4 \\ -4 \\ 4 \\ 1-4 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 5 \\ -4 \\ 4 \\ -3 \end{pmatrix} \in W_{-3} \text{ であり , } z_4 \text{ は } W_{-3} \text{ の基底である . よって , } z_1, z_2, z_3, z_4 \text{ は } \mathbb{R}^4$$

の基底であり ,  $z_1, z_2, z_3, z_4$  に関する  $f$  の行列表示  $J = \begin{pmatrix} 2 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 2 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 2 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & -3 \end{pmatrix}$  は ,  $f$  のジョルダン

ン標準形である .

(9) (7) より ,  $A$  の固有多項式は ,  $(X-2)^3(X+3)$  である .

2 (1)  $f \in C^\infty(\mathbb{R})$  とすると ,  $\Delta(T(f)) = \Delta((f^{(n)}(0))_n) = (f^{(n+1)}(0))_n$  であり , これは  $T(D(f)) = T(f') = (f'^{(n)}(0))_n = ((f^{(n+1)}(0))_n$  と等しい .

(2)  $a \cos + b \sin = 0$  とすると ,  $a \cos(0) + b \sin(0) = a = 0$  であり ,  $a \cos(\frac{\pi}{2}) + b \sin(\frac{\pi}{2}) = b = 0$  である .

(3) 写像  $G: \mathbb{R}^4 \rightarrow W$  を , ベクトル  $\begin{pmatrix} a_0 \\ a_1 \\ a_2 \\ a_3 \end{pmatrix}$  を数列  $(a_0, a_1, a_2, a_3, a_0, a_1, a_2, a_3, \dots)$  にうつ

す写像とすると ,  $G$  は  $F: W \rightarrow \mathbb{R}^4$  の逆写像である .

(4)  $D^4(\cos) = \cos$  だから , (1) より  $\Delta^4(T(\cos)) = T(D^4(\cos)) = T(\cos)$  である . よって ,  $(\Delta^4 - 1)(T(\cos)) = \Delta^4(T(\cos)) - T(\cos) = 0$  であり ,  $T(\cos) \in W$  である . 同様に ,  $T(\sin) \in W$  である .  $T$  は線形だから ,  $T(V) = \langle T(\cos), T(\sin) \rangle \subset W$  である .

(5)  $T|_V: V \rightarrow W$  の ,  $\cos, \sin$  と  $y_1, \dots, y_4$  に関する行列表示は , 合成写像  $F \circ T|_V: V \rightarrow \mathbb{R}^4$  の ,  $\cos, \sin$  と , 標準基底  $e_1, \dots, e_4$  に関する行列表示である .

$$F \circ T|_V(\cos) = \begin{pmatrix} \cos 0 \\ \cos' 0 \\ \cos'' 0 \\ \cos''' 0 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \\ 0 \end{pmatrix} \text{ である . 同様に , } F \circ T|_V(\sin) = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 0 \\ -1 \end{pmatrix} \text{ だから ,}$$

求める行列表示は ,  $\begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \\ -1 & 0 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$  である .